



患者安全とSDGsの整合性

医学部附属病院 教授 深見 達弥

Goal1:患者安全は、安全上の問題による医療費を削減するとともに、利用可能な資源を最適化して医療サービスへのアクセスを改善します。

Goal1&3:患者安全の向上により、医療費を含めた無駄を削減できます。

Goal5:医療関係者の約70%が女性であることからジェンダーに基づく暴力を排除することは重要です。性別を問わず医療関係者の安全は患者安全にもかかわる重要です。

Goal6:医療施設の水および衛生設備は患者安全の重要な構成要素の一つであり、地域社会の衛生行動に影響を及ぼす可能性があります。

Goal8:人間工学と安全文化に焦点を置くことで、医療環境(職場)の安全性を持続可能な形で改善することが可能です。

Goal10:患者、家族、地域社会の参画は、患者安全の要であり、医療における公平性と包摂性を促進します。

以上は、世界保健機関(WHO)の**世界患者安全行動計画2021-2030**における『患者安全とSDGsの整合性』で述べられています。



Global Patient Safety Action Plan 2021-2030(WHO)

